

# 2023年1月期第3四半期 決算補足資料

---

株式会社 シーイーシー

2022年12月9日

**2023年1月期 第3四半期経営成績**

**2023年1月期 通期業績見通し**

**2023年1月期 第3四半期**

**経営成績**

# 第3四半期実績前年比較

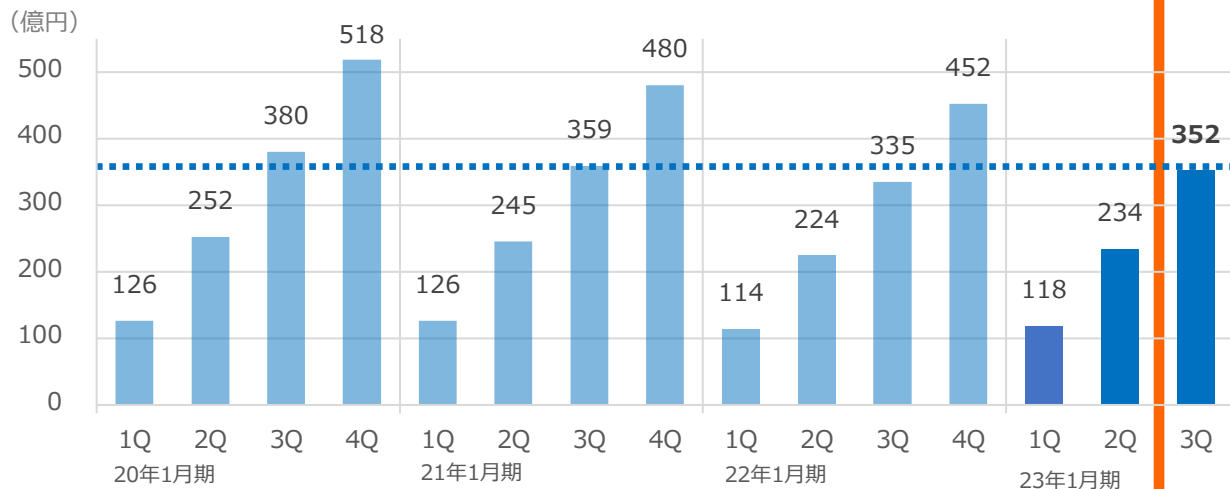
- 顧客のICT投資はDX領域やセキュリティ対策などの分野を中心に活性化し、半導体不足の影響は残るものの商談数は増加傾向。
- 四半期純利益は2Qで投資有価証券の売却益を特別利益に計上し、**過去最高益**を更新。 (単位：百万円)

	2022年1月期 第3四半期実績	第2四半期 実績	2023年1月期		
			第3四半期 実績	前年比 増減額	前年比 増減率
売上高	33,527	23,478	35,288	+1,760	+5.3%
営業利益	3,043	1,969	3,277	+234	+7.7%
営業利益率	9.1%	8.4%	9.3%	(+0.2)	—
経常利益	3,081	1,988	3,296	+215	+7.0%
経常利益率	9.2%	8.5%	9.3%	(+0.2)	—
四半期純利益※	1,798	3,495	4,381	+2,583	+143.7%
四半期純利益率	5.4%	14.9%	12.4%	(+7.1)	—

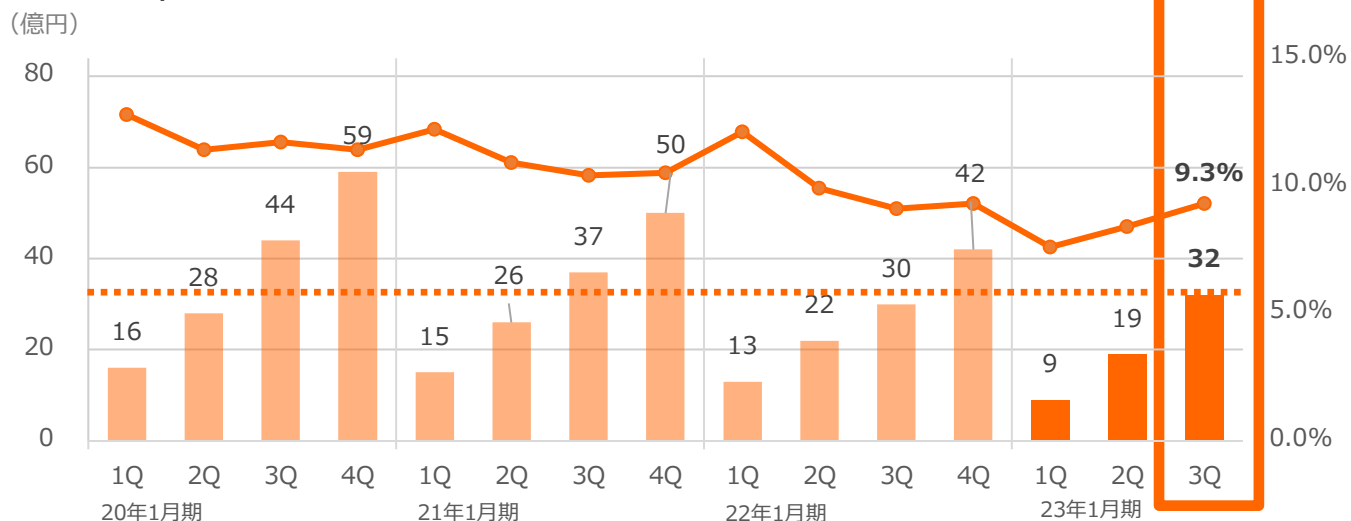
※「四半期純利益」は「親会社株主に帰属する四半期純利益」、「当期純利益」は「親会社株主に帰属する当期純利益」を示す(以降同様)  
 ※ 当第1四半期連結会計期間の期首から「収益認識に関する会計基準」等を適用し、当第3四半期連結累計期間での影響額は売上高が180百万円増加、営業利益・経常利益および税金等調整前四半期純利益がそれぞれ21百万円増加

# 四半期業績推移

## ■ 売上高推移



## ■ 営業利益・利益率推移



### 売上高

- 製造業顧客のICT投資が回復し前年比増収
- 流通業顧客の引き合いは引き続き堅調
- システム開発事業はDX需要が継続し、堅調に推移
- インフラ構築事業は半導体不足が継続も、徐々に改善傾向
- セキュリティ分野は需要旺盛で好調に推移
- グループ会社は前年並み

### 営業利益

- 売上増加に伴う利益の増加
- 生産性向上活動により利益向上
- 前期に発生した不採算案件の影響が継続しているものの、機会損失防止に邁進

# 事業セグメント別前年比較

- デジタルインダストリー事業は、製造業顧客のICT投資回復により業績が改善し増収増益
- サービスインテグレーション事業は、不採算案件や半導体不足の影響は継続しているもののDX推進やセキュリティ需要が好調に推移し増収

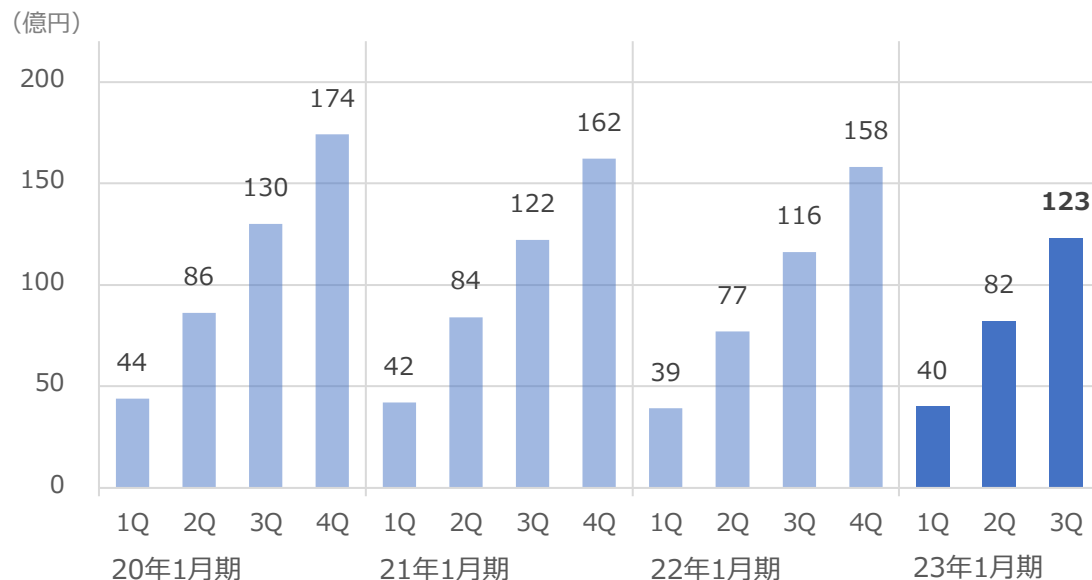
(単位：百万円)

	2022年1月期 第3四半期実績		2023年1月期 第3四半期実績		増減額	
	売上高	営業利益 利益率	売上高	営業利益 利益率	売上高 (増減率)	営業利益 (増減率)
デジタル インダストリー事業	11,634	2,158 18.5%	12,309	2,805 22.8%	+674 (+5.8%)	+647 (+30.0%)
サービス インテグレーション 事業	21,892	3,481 15.9%	22,978	3,440 15.0%	+1,086 (+5.0%)	▲41 (▲1.2%)
全社費用	—	▲2,596	—	▲2,967	—	▲371
合計	33,527	3,043 9.1%	35,288	3,277 9.3%	+1,760 (+5.3%)	+234 (+7.7%)

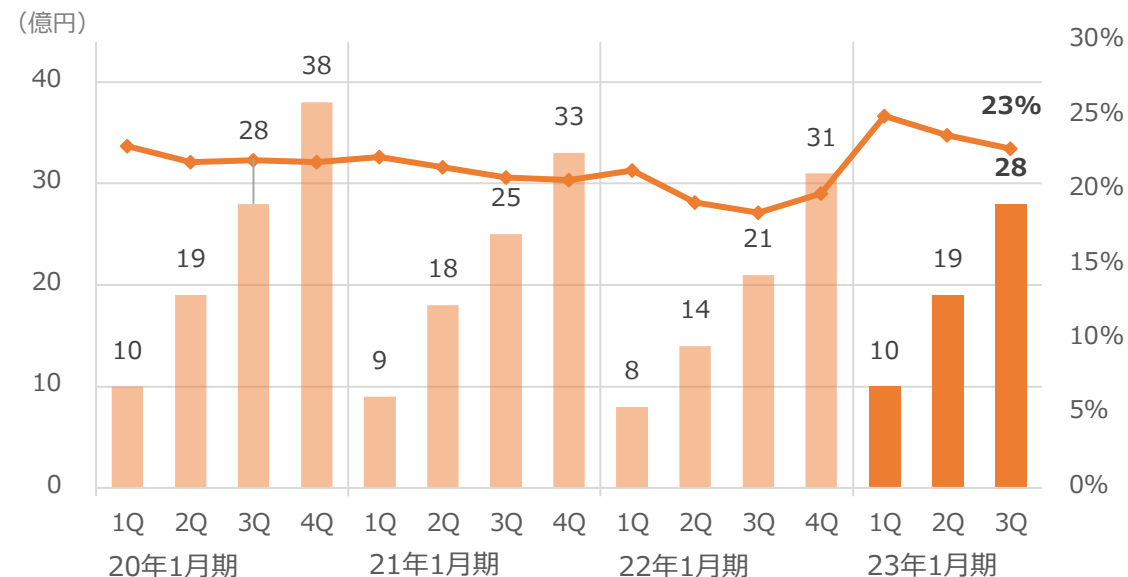
※「収益認識に関する会計基準」等の適用による当第3四半期連結累計期間での影響額は、「デジタルインダストリー事業」売上高：33百万円増加、セグメント利益：4百万円増加  
「サービスインテグレーション事業」売上高：146百万円増加、セグメント利益：17百万円増加

# デジタルインダストリー事業

## ■ 売上高



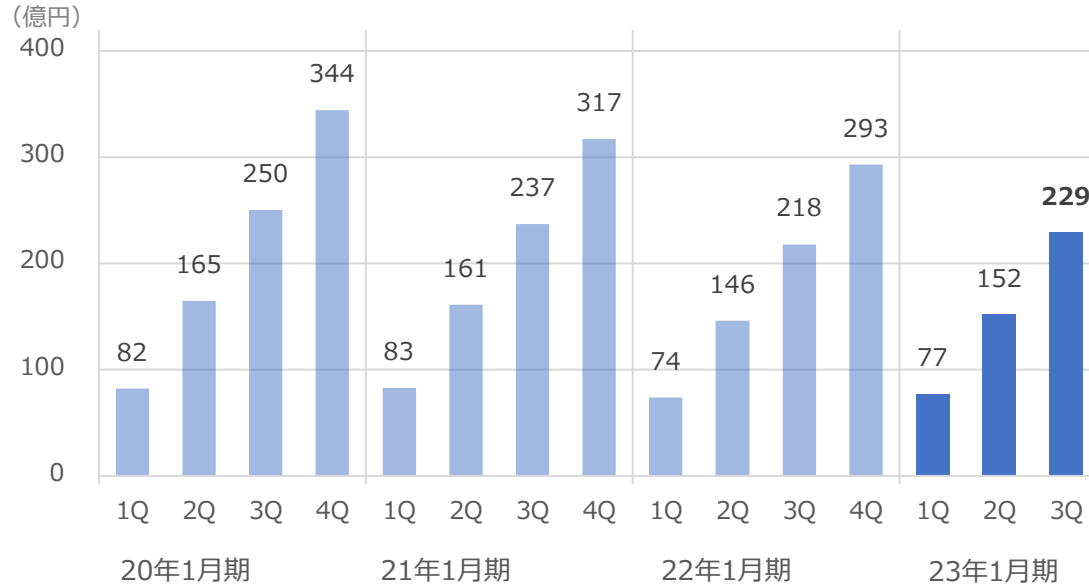
## ■ 営業利益・営業利益率



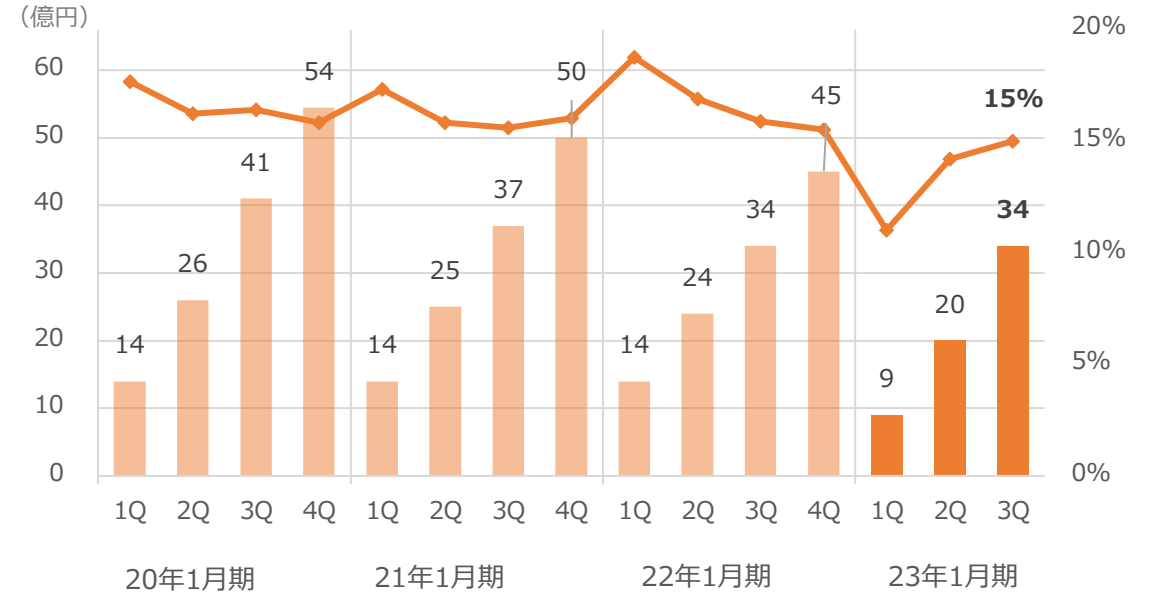
事業区分	売上 天気図	第3四半期ポイント
スマートファクトリー		● 全社規模で生産DXに取り組む顧客の増加に伴い製品および開発案件の引き合い増加
コネクティッドサービス		● モビリティ分野は堅調、制御案件は商談増加傾向
中部地区		● 主要顧客のICT投資が堅調に推移し、売上および利益は順調
西日本地区		● 製品サービス系に加え、既存システム開発分野の商談も好調に推移




# サービスインテグレーション事業

## ■ 売上高



## ■ 営業利益・営業利益率

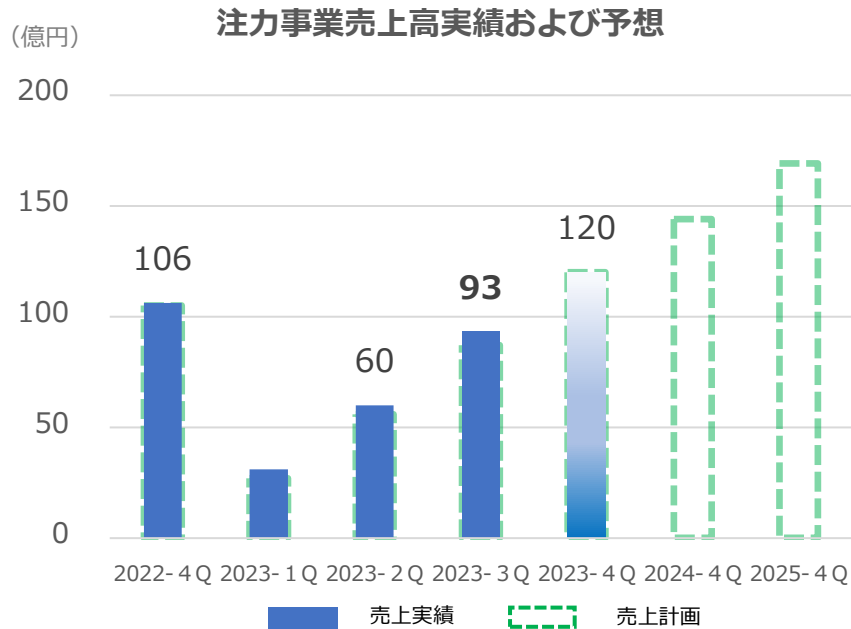


事業区分	売上 天気図	第3四半期ポイント
サービスインテグレーション		● 官民のDX推進需要を追い風に新規案件を獲得し、システム開発事業全般は堅調を維持
プラットフォームアーキテクト		● 官公庁・自治体からのセキュリティ分野の引き合いは活況が続き、インフラ構築事業は半導体不足の影響が継続しているものの回復傾向
グループ会社		● ニアショア開発含む事業環境が良好なため、堅調に推移



# 注力事業進捗状況

## ■ 注力事業は通期目標に対し概ね計画どおりに推移



通期目標	売上高	<b>120億円</b>
第3四半期 累計実績	売上高	<b>93億円</b>
	進捗率	<b>77.7%</b>

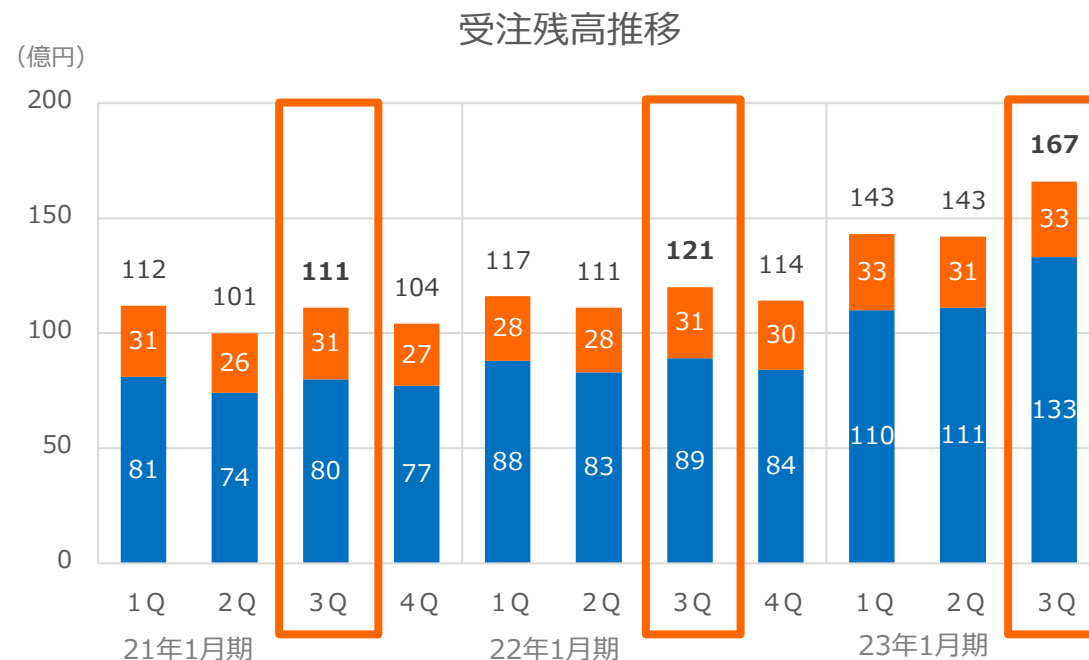
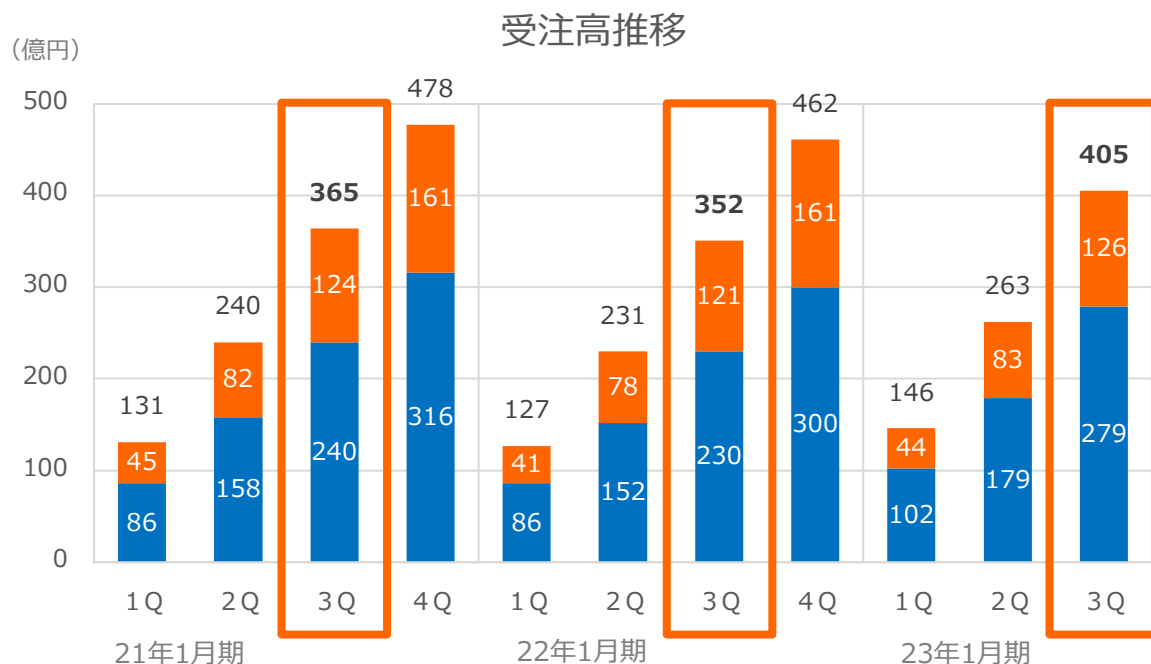
	注力事業	ポイント
DI ※	生産・物流ソリューション	全社規模で生産DXに取り組む顧客が増え、売上計上までに期間を要する傾向にある
	モビリティサービス	クラウド系開発商談は堅調継続
SI ※	マイクロソフト連携サービス	DX推進によりCRMやローコード開発などの商談が豊富で計画より上振れ
	マイグレーションサービス	DX需要の拡大を背景にクラウド移行やサポート切れプログラム言語対応で活況
	セキュリティサービス	セキュリティサービス商談（コンサル、導入&監視）が活況継続
	DXクラウド基盤	自社サービスのクラウドサービス機能開発設計～実装および実機検証中

※DI：デジタルインダストリー事業 SI：サービスインテグレーション事業

# 受注高・受注残高の推移

■ 事業環境は良好、受注高および受注残高は順調に積み上がる

■ デジタルインダストリー事業 ■ サービスインテグレーション事業



(単位：百万円)

合計	2022年1月期 第3四半期累計実績	2023年1月期 第2四半期累計実績	2023年1月期 第3四半期累計実績	前年比 増減率	受注状況
受注高	<b>35,206</b>	26,301	<b>40,561</b>	<b>+15.2%</b>	システム開発事業の商談は引き続き堅調、インフラ構築事業の商談増加
受注残高	<b>12,164</b>	14,309	<b>16,760</b>	<b>+37.8%</b>	

# 業種別売上高前年比較

(単位：百万円)

	2022年1月期 第3四半期実績	2023年1月期 第3四半期実績	前年比		業種別のポイント
			増減額	増減率	
製造業 (構成比)	14,876 (44.4%)	<b>15,557</b> <b>(44.1%)</b>	+681	+4.6%	【製造】 既存顧客のICT投資が 堅調を維持
通信・情サビ業 (構成比)	8,161 (24.4%)	<b>9,475</b> <b>(26.8%)</b>	+1,313	+16.1%	【通信・情サビ】 DX推進支援や 協業ビジネスにより伸長
金融業 (構成比)	3,971 (11.8%)	<b>3,416</b> <b>(9.7%)</b>	▲555	▲14.0%	【金融】 インフラ構築事業の 商談減少により前年比減
流通業 (構成比)	1,817 (5.4%)	<b>2,278</b> <b>(6.5%)</b>	+461	+25.4%	【流通】 セキュリティ・物流サービス 需要が増加
官公庁 (構成比)	1,692 (5.0%)	<b>1,281</b> <b>(3.6%)</b>	▲411	▲24.3%	【官公庁】 セキュリティ事業は好調も、インフラ 構築商談周期の変わり目などで減収
その他 (構成比)	3,007 (9.0%)	<b>3,279</b> <b>(9.3%)</b>	+271	+9.0%	
合計	33,527 (100%)	<b>35,288</b> <b>(100%)</b>	+1,760	+5.3%	

# 貸借対照表前年度末比較

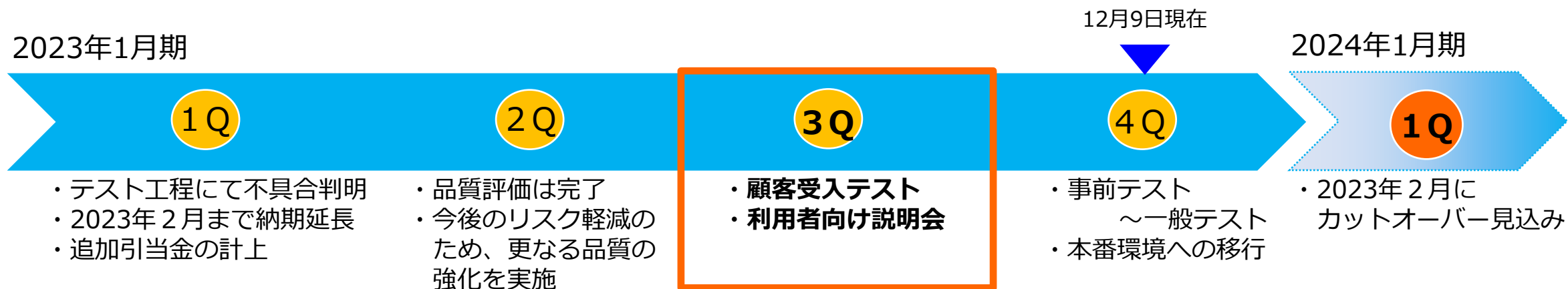
(単位：百万円)

	2022年 1月末	2022年 10月末	前期末比	
			増減額	増減率
流動資産	34,060	<b>34,710</b>	+650	+1.9%
現預金	22,430	<b>23,977</b>	+1,547	+6.9%
固定資産	11,087	<b>10,981</b>	▲106	▲1.0%
有形固定資産	6,567	<b>6,614</b>	+47	+0.7%
無形固定資産	244	<b>272</b>	+28	+11.6%
投資その他の資産	4,275	<b>4,093</b>	▲181	▲4.3%
負債合計	9,411	<b>9,287</b>	▲123	▲1.3%
流動負債	8,310	<b>8,632</b>	+321	+3.9%
固定負債	1,100	<b>655</b>	▲444	▲40.4%
純資産合計	35,736	<b>36,404</b>	+667	+1.9%
負債・純資産合計	45,147	<b>45,691</b>	+544	+1.2%

ポイント
<b>【資産】 増加</b> 現預金増加による増加
<b>【負債】 減少</b> 長期未払金減少による減少
<b>【純資産】 増加</b> 自己株式取得により減少も 利益剰余金増加により増加
自己資本比率
78.7%→ <b>79.5%</b>

# 不採算案件の状況と今後の予定

- 不採算案件対応は計画どおりに推移
  - 顧客受入テストおよび利用者向け説明会は完了し、プロジェクトは順調に進行
  - 12月9日時点では、一般テスト工程および顧客マニュアル作成含むドキュメント整備作業を推進中
  - カットオーバーのスケジュールに変更は無し
  
- これまでの経緯と今後の予定



※前期の経緯は、2022年6月10日公表の「2023年1月期第1四半期決算補足説明資料」をご参照ください。  
 ※2023年1月期4Q以降の予定は、プロジェクト進捗状況によって変更となる可能性もございます。

**2023年1月期  
通期業績見通し**

# 通期業績予想前年比較

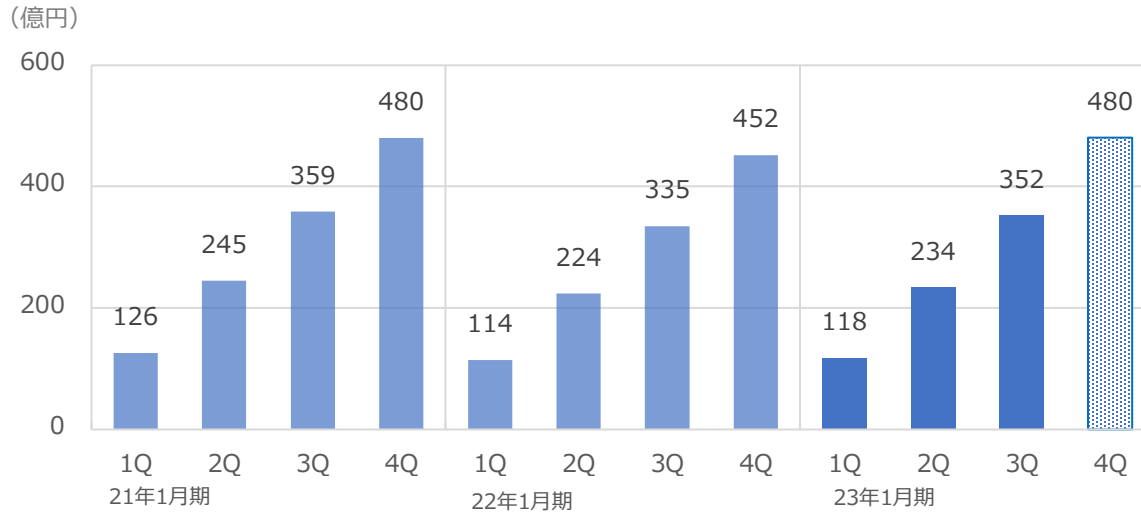
■ 通期業績予想は据え置き、増加傾向の商談に対応し目標達成を目指す

(単位：百万円)

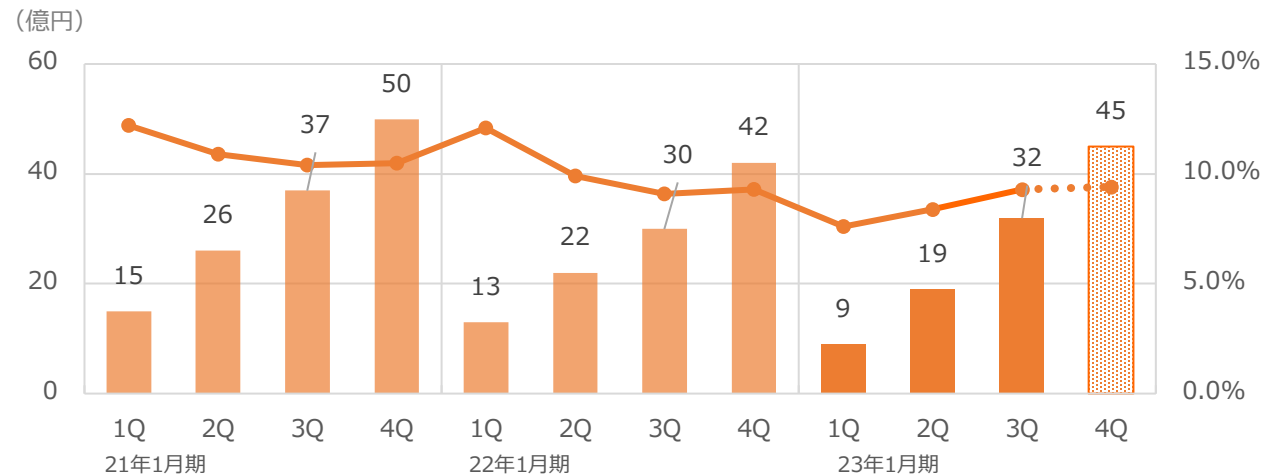
	2022年1月期 実績	2023年1月期予想			2023年1月期 第3四半期実績	進捗率
			増減額	増減率		
売上高	45,220	<b>48,000</b>	+2,779	+6.1%	35,288	73.5%
営業利益	4,206	<b>4,500</b>	+293	+7.0%	3,277	72.8%
営業利益率	9.3%	<b>9.4%</b>	(+0.1)	—	9.3%	—
経常利益	4,282	<b>4,540</b>	+257	+6.0%	3,296	72.6%
経常利益率	9.5%	<b>9.5%</b>	(—)	—	9.3%	—
当期純利益	3,039	<b>5,200</b>	+2,160	+71.1%	4,381	84.3%
当期純利益率	6.7%	<b>10.8%</b>	(+4.1)	—	12.4%	—

# 通期業績予想とポイント

## ■ 売上高



## ■ 営業利益・利益率



### 売上高

- 業績予想に変更なし
- 主要顧客のICT投資が回復し、商談は増加傾向
- 営業戦略も変更なし、注力事業の製品サービスを拡販推進
- 事業領域融合やエリア統合により生まれるシナジー効果を活かし、新規商談を開拓

### 営業利益

- 不採算案件の収束を最重要課題と位置づけ経営資源を重点的に投下
- 利益率改善を目指し、高収益商談の獲得を推進



# 事業セグメント別通期業績予想

(単位：百万円)

	2022年1月期 実績		2023年1月期 予想		増減額		2023年1月期 第3四半期進捗率	
	売上高	営業利益 (利益率)	売上高	営業利益 (利益率)	売上高 (増減率)	営業利益 (増減率)	売上高 進捗率	営業利益 進捗率
デジタル インダストリー 事業	15,897	3,153 (19.8%)	<b>17,100</b>	<b>3,900</b> (22.8%)	+1,203 (+7.6%)	+747 (+23.7%)	72.0%	71.9%
サービス インテグレーション 事業	29,322	4,546 (15.5%)	<b>30,900</b>	<b>4,600</b> (14.9%)	+1,578 (+5.4%)	+54 (+1.2%)	74.4%	74.8%
全社費用	—	▲3,493	—	▲4,000	—	▲507	—	—
合計	45,220	4,206 (9.3%)	<b>48,000</b>	<b>4,500</b> (9.4%)	+2,780 (+6.1%)	+294 (+7.0%)	73.5%	72.8%

# デジタルインダストリー事業通期業績予想

## ■ 売上高・営業利益

		2023年1月期		
		第3四半期実績	通期予想	進捗率
デジタルインダストリー事業	売上高	123億円	171億円	72.0%
	営業利益	28億円	39億円	71.9%
内、注力事業	売上高	36億円	51億円	71.2%

事業区分	ポイント
スマートファクトリー	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生産DX化に向けて自社製品を組み合わせたSI強化</li> <li>●デジタルデータを活用した自動化システム開発に注力</li> </ul>
コネクティッドサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>●クラウド技術によるモビリティサービスやIoT化商談の拡大</li> <li>●テスト自動化を含むDevOps環境構築サービスの強化</li> </ul>
中部地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>●DX推進強化により好調なシステム開発系商談の更なる領域拡大</li> </ul>
西日本地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>●IoT関連製品・サービス全般を商材に既存顧客の深耕および新規商談の開拓</li> <li>●物流関連事業の領域拡大により新規顧客・商談の獲得に注力</li> </ul>

# サービスインテグレーション事業通期業績予想

## ■ 売上高・営業利益

		2023年1月期		
		第3四半期実績	通期予想	進捗率
サービスインテグレーション事業	売上高	229億円	309億円	74.4%
	営業利益	34億円	46億円	74.8%
内、注力事業	売上高	56億円	69億円	82.5%

事業区分	ポイント
サービス インテグレーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 不採算案件の収束、活況なDX系商談と生産性向上を推進</li> <li>● マイクロソフト連携サービスは引き続きDynamics365とAzureビジネス拡大に注力</li> <li>● マイグレーションサービスはクラウドシフト支援の強化</li> </ul>
プラットフォーム アーキテクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 官公庁・自治体のデジタル化需要に対応、インフラ構築からDCまで一貫したサービスの提供</li> <li>● 企業のDX基盤構築支援とそれに伴うサイバーセキュリティの支援を推進</li> </ul>
グループ会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 顧客との連携強化（ニアショア開発ノウハウの共有）</li> </ul>

# Shape your future

## 免責事項

- ✓ 本資料は、投資を勧誘することを目的として作成されたものではありません。
- ✓ 本資料に含まれる将来の業績に関する見通しは、日本経済や情報サービス産業の動向、その他本資料作成時点において入手している情報による判断及び仮定により、算出しております。従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により変動する可能性があることをご承知おきください。

[お問合せ先] 株式会社シーイーシー

経営企画部 IR担当 03-5789-2442

経理部 IR担当 046-252-4111

E-mail [IR@cec-ltd.co.jp](mailto:IR@cec-ltd.co.jp)

# 会社概要

**名称** 株式会社シーイーシー  
Computer Engineering & Consulting Ltd.

**設立年月日** 1968年2月24日

**上場取引所** 2022年4月（プライム市場）  
2001年7月（東証一部）

**資本金** 65億8千6百万円

**売上高** 452億2千万円（2022年1月期）

**各種許認可**

- 経済産業省システム監査企業台帳登録企業
- 経済産業省情報セキュリティ監査企業台帳登録企業
- プライバシーマーク認定事業者11820032（12）

- JQA認定
  - ・ 品質マネジメントシステム  
ISO9001:2015（登録証番号JQA-1481）
  - ・ 情報セキュリティマネジメントシステム  
ISO/IEC27001（登録証番号JQA-IM0007）
  - ・ クラウドサービス情報セキュリティマネジメントシステム  
ISO/IEC27017（登録証番号JQA-IC0040）
  - ・ ITサービスマネジメントシステム  
ISO/IEC20000（登録証番号JQA-IT0005）
  - ・ 環境マネジメントシステム  
ISO14001:2015（登録証番号JQA-EM7701）

- 電気通信工事業 国土交通大臣（般-4）第28700号  
（許可年月日：2022年11月21日）

**従業員数** 2,273名（2022年4月1日現在）

**連結子会社** 8社

**本社事務所** 〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1-5-5 JR恵比寿ビル

**代表者** 代表取締役社長 大石 仁史

## 事業内容

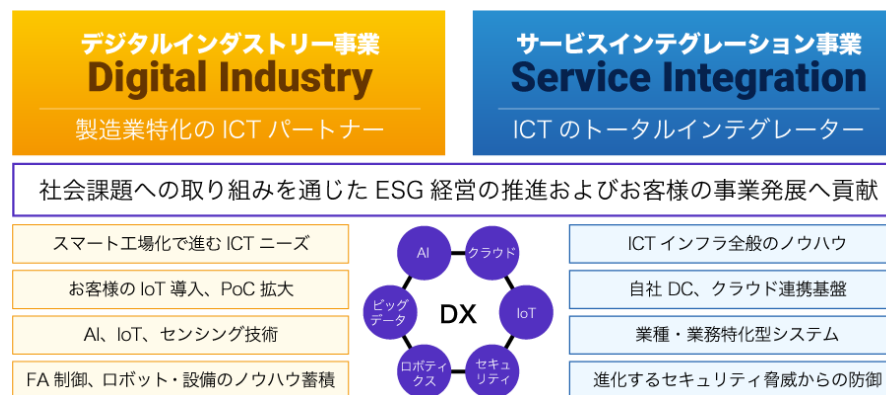
### ■ デジタルインダストリー事業

製造業のお客様を対象に、業務の効率化や品質の向上、魅力ある製品づくりを支援するICTサービスを提供

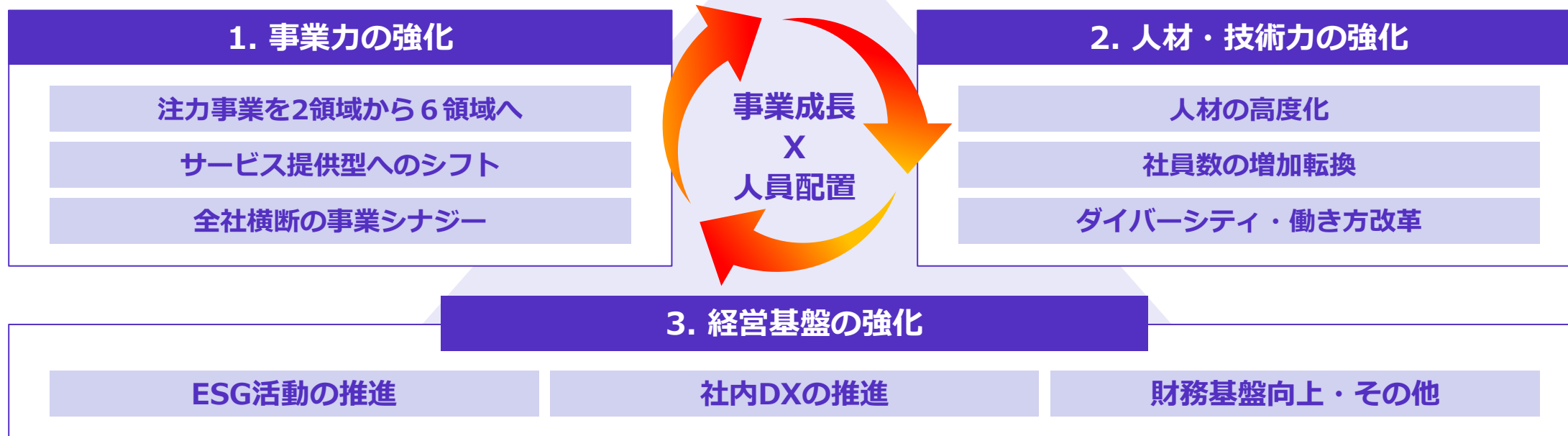
### ■ サービスインテグレーション事業

企業・組織の業務改革・改善に必要な、ICTライフサイクルのフルサポートから、クラウド、セキュリティまで一貫したサービスを提供

## サステナブルな社会実現に貢献する2つの事業

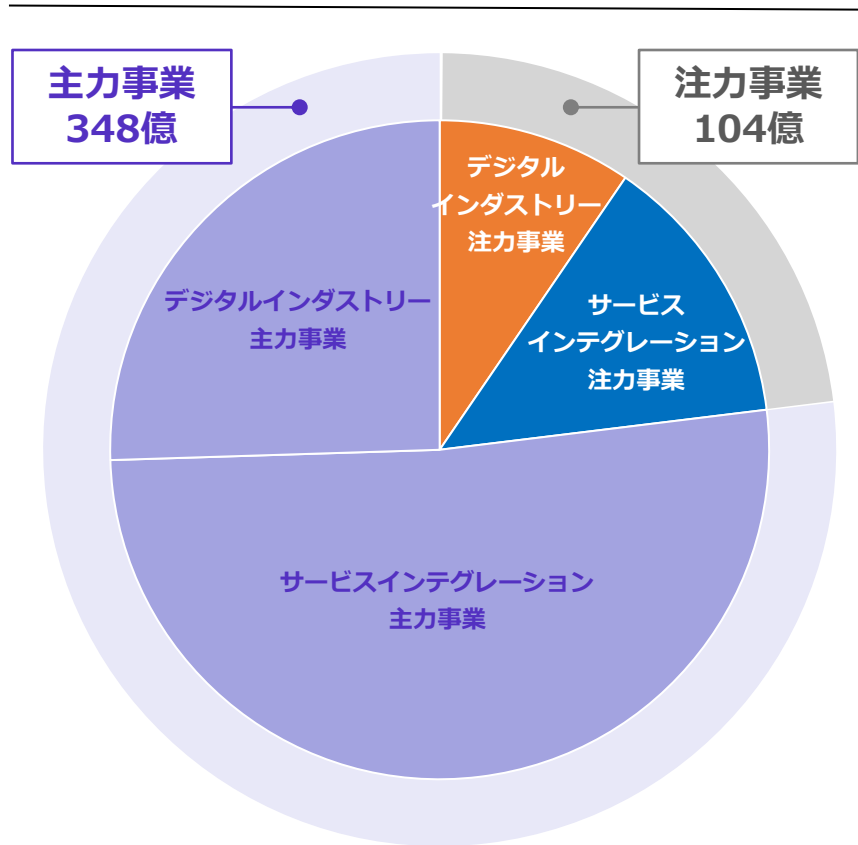


## Vision 2025 「ICT技術で未来を創る企業」へ



	売上高	経常利益	経常利益率	ROE・配当性向
<b>経営指標の目標値</b>	560億円	69億円	12%以上	ROE：12%以上 配当性向：40%以上

## 全社売上452億



## 注力事業：独自の長を生かした事業分野

デジタルインダストリー事業	生産・物流	Visual Factory® LogiPull.	製造業向けの製品サービスに加えて、物流ソリューション「LogiPull」を追加し、生産現場から物流までのデジタル化支援・DX戦略支援を行う注力領域
	モビリティ	PlusLocation. SimuField®-SC	主に自動車業界のCONNECTED分野における車載/交通ビッグデータを活用したサービスを展開する注力領域
サービスインテグレーション事業	マイクロソフト連携	Convergent®	Dynamics365/Azure 基盤の経営分析・マーケティング支援でDXを支援する注力領域
	マイグレーション	Re@nove リノーフ	レガシーICT刷新、クラウド移行やシステム・アプリ環境のDXを支援する注力領域
	セキュリティ	CyberNEXT®	NWに繋がるICT要素をセキュリティの脅威から防御する製品群を保有し、セキュリティのコンサル～設計・構築・運用サービスを行う注力領域
	クラウド基盤	BizVision	自社製品のクラウドプラットフォームを推進する注力領域